

生活者優先時代を実現する 2017年(平成29年) 8月25日 2207号 毎月5日、15日、25日発行

日本消費経済新聞

©日本消費経済新聞社2017

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 Tel: 03-3263-1191 Fax: 03-5276-7878
URL: http://www.nc-news.com 昭和46年12月24日第三種郵便物承認

購読料 1年8,400円
半年4,200円

特商法執行件数が激減 消費者庁、本年度わずか1社

消費者庁が悪質事業者に業務停止命令や業務改善のための指示を出す特定商取引法の法執行件数が激減している。2016年度はわずか5社。2017年度は8月24日時点で、たった1社に過ぎない。7月11日に立入検査に入ったマルチ業界3位のフォーデイズ(東京都中央区)は、事業者自らが立入検査に入られたことを公表し、第三者委員会を設置するなど改善策をPRしているが、2016年8月時点で、行政指導にとどめるのではなく、行政処分すべき案件だったと考えられる。8月1日には、札幌市にある48(よつば)ホールディングスに立入検査に入ったものの、前日から行われていた国税庁の強制調査と重なり、必要な資料を持ち帰られてしまった。当初5月に予定していた立入検査を延ばしたことで後手に回った。事案の共有や自由な意見交換、個別事案の資料閲覧を禁止する隠ぺい体質が、迅速な法執行を阻害し、悪循環を招いているように見える。本年12月からは、業務停止命令期間が最大2年に延長され、役員や同等の支配力を持つ社員個人に業務禁止命令が出せる改正特商法が施行される。より精緻な調査が必要になるが、このような状況で、改正法に対応できるのか。(相川優子)

質事業者には太刀打ちできない。やり方が分からず、時間ばかりがかかり、迅速な処分にはつながらない。さらに幹部の決断にも時間がかかっているという。訴訟も増えている。自浄作用による改善は難しいように見える。

マルチ業界3位のフォーデイズ 昨年8月、なぜ指導にとどめたのか

7月11日に立入検査に入った「フォーデイズ」は、マルチ業界3位の事業者で、核酸入りのドリンクや化粧品などをマルチ商法で販売している。

ていない。古くからある相談で、「核酸ががんに効く」「高血圧に効く」「万病に効く」などのセールストークは、2016年8月の指導前からずっと続いているという。中には「遺伝子に傷がついても修復する」という悪質な内容もあったと見られる。

マルチ商法では、統括者が注意をしても、もうけたい勧誘者が違反をしようとする問題もある。本来なら、2016年の時点で立入検査に入り、処分すべき案件だったと考えられる。

他事業者と公平性欠く ナチュラループラス 9カ月業務停止

消費者庁は2016年3月9日に、健康食品や化粧品の連鎖販売(マルチ取引)業者「ナチュラループラス」(東京都港区)に対し、9カ月の業務停止命令を出している。違反認定は、勧誘目的等不明示、不实告知、重要事項不告知など。マルチ業界7位、当時の売上額約220億円の「ナチュラループラス」に行政処分をし、マルチ業界3位、売上額約430億円(2017年3月期)の「フォーデイズ」には、同様の違反で、

立入検査延期し、国税庁に遅れ 48ホールディングス

個別事案の資料閲覧禁止 ノウハウ継承されず、迅速処分に支障

消費者庁が2009年9月に創設されて以降、特商法の行政処分件数は、2010年度は18社、2011年度は15社、2012年度は18社ある。2013年度は10社にとどまったものの、2014年度は19社、2015年度も11社と2ケタを超えていた。しかし、2016年度は5社、本年度も8月末現時点で1社というのでは、あまりにお粗末だ。これでは、消費者庁取引対策課の役割を果たせているとは言えない。

同課の元課長補佐が天下っていたジャパンライブ(東京都千代田区)の問題が今年の通常国会で大きく取り上げら

れて追及されて以降、取引対策課では、取り扱っている事案や過去の事案も含め、資料を担当者以外が見ることができなくなっているという。終了事案は担当者ですら許可なく見ることができない。ジャパンライブへの行政処分を公表した記者会見の音声記録が削除されるという奇妙なことも起きているという。

個別事案での意見交換も禁止された。過去には行われていた事案の共有や、事案ごとの対応策について自由に意見を交換する全体会議も、現体制になった昨年の夏以降、中止されたままだ。人員を刷新してもこれでは、これまで培ってきた特商法執行のノウハウを引き継ぐことができない。手続上のマニュアルでは、許認可もない海千山千の悪

特定商取引法に基づく国の行政処分件数の推移

年度	行政処分件数	内訳		処分事業者数	内訳	
		業務停止命令	指示		消費者庁	経済産業局
2009年度	26	14	12	14	2	12
2010年度	53	28	25	31	18	13
2011年度	43	24	19	29	15	14
2012年度	40	31	9	29	18	11
2013年度	21	12	9	19	10	9
2014年度	40	16	24	31	19	12
2015年度	34	23	11	23	11	12
2016年度	28	14	14	11	5	6
2017年度	3	1	2	2	1	1

※公表されているのは、行政処分件数のみ。例えば、2016年度はジャパンライブ1社への対応で、業務停止命令5件、指示8件、10件で数えられている。処分件数のみの公表では、激減している実態が見えにくく(個数あり)※2009年度は消費者庁が創設された9月1日現在の件数

事業者自らが昨年8月17日に消費者庁に呼ばれ、指導されたことを明らかにしているが、この時点でなぜ、行政処分を行わず行政指導にとどめたのかという疑問が出ている。行政処分をして公表しなければ、悪質性は消費者に伝わらず、被害の防止にはつながらない。

フォーデイズは、2014年度、2015年度、2016年度ともに相談件数は200件を超え、実際に契約をしたという相談件数も各年度とも100件を超えると見られる。指導後の相談件数も減つ

行政指導で済ませたというのでは、公平性を欠く。

フォーデイズによると、現時点での登録会員は約32万人。7月14日には自らのホームページの動画で、2回目の指導を受けたと公表。7月27日には、立入検査に入られたことを明らかにし、同社としての具体的な改善策を打ち出した。8月3日には、客観的な立場から事実関係を調査する第三者委員会を立ち上げたことも公表している。第三者委員会には、元北海道経済産業局長も名を連ねている。



鮮度生活

特選 丸大豆しょうゆ
減塩しょうゆ
特選 塩分控えめしょうゆ

毎日の食卓に、手軽に使える鮮度容器。
開封後常温保存で90日間鮮度キープ。

ず〜っと赤い。ず〜っとおいしい。



600ml 鮮度ボトル

ヤマサ醤油株式会社
www.yamasa.com

鮮度の一滴

香り立つ超特選しょうゆ
香り立つ特選減塩しょうゆ

抜群の香り立ち、澄んだ赤い色、深い味わい。
開封後常温保存で180日間、
抜群の鮮度キープ力。



300ml 鮮度パック